

KDKニュース



KDK三つの原則

1. 開拓伝道であること
2. 教会を建てあげること
3. 聖書信仰に立つ、教団、教派との協力

国内開拓伝道会

発行人 中島秀一

〒352-0011

埼玉県新座市野火止4の8の28

電話 048-202-1500

FAX 048-202-1501

振替 00140-6-57493

No.131 2022年5月

「神の選びの約束」

KDK顧問 中島 秀一



「あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようにするため、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。」(ヨハネの福音書一五・一六)

私はこの三月末日を以て引退しました。本田弘慈師の特集において一七才で新生の恵みに与って以来、六七年の信仰生活、六一年の牧会生活を歩んできました。その間、私の大きな力となったのが冒頭の聖句です。

主イエスは「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」(マタイ四・一九)と言われました。この言葉は条件付きの約束ですが、冒頭の聖句は一方的な選びであり、しかも約束の伴う選びです。ここに「実を結び、実が残る、与えて下さる」という三つの約束があります。

キリスト教とは緑のない仏教徒の家から母と五人の兄弟は救われ、二人は牧師となりました。私たちの五人の子供はみな救われ、一人は牧師となりました。結婚して今年五六年、その間、求めるものは与

えられ、必要なものはみな備えられました。まず家族において約束の実は確実に結ばれました。

私たちの世代は高度成長期と重なり、福音宣教も盛んに行われ、教会は大きく成長しました。ピリー・グラハムや本田弘慈らによるクルセードが行われたのもこの時代です。私は卒業後、岡山大原教会、直江津愛真教会、西宮聖愛教会、荻窪栄光教会に遣わされました。それぞれの教会で人々が救われ、献身者が与えられ、会堂が建ち、西宮で三教会、荻窪で三教会の枝教会が生み出されました。それぞれの教会での働きの実は確実に残っています。

しかし、バブルの弾けた一九九〇年代から教会の働きも次第に低迷期に入りました。二千年に入ってからわが国は大きな自然災害に何度も襲われ、ここ数年はコロナ禍、最近ロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮の度重なる弾道ミサイルの発射等々、第三次世界大戦前夜のような様相を呈しています。

聖書は「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても……」(Ⅱテモテ四・二)と教えています。今は確かに悪い時代です。しかし幸いなことにITの進歩によって新しい時代が近くまで来ています。この機会を活かさなくてはなりません。まず宣教を内向きから外向きに転換し、地域と連帯する良い機会です。だからこそ希望を抱いて、ビジョンをもって新しい時代に立ち向かって進んで下さい。次代を背負う若者への引退牧師からのエールです。

(荻窪栄光教会 協力牧師)

会長就任のごあいさつ

KDK 会長 嵐 時雄

野畑新兵衛師（1990年召天）、泉田昭師（2021年召天）、中島秀一師と続く歴代の会長は、日本のキリスト教世界のオピニオンリーダーとして主に用いられた方々です。また、開拓伝道に関しては、それぞれの立場で高い見識を持ちつつKDKの働きに携わられました。私は1985年から委員としてこの働きに加わっておりますが、4月より顧問となられた中島秀一師の後を継ぐこととなりました。力の足りなさを覚えております故、これまで以上にお祈りいただければと思っております。



KDKの働きは一人のアメリカ人宣教師の志を受けて、1959年にスタートしました。当初から、日本の開拓伝道を担う働き人をサポートするという明確な目的を持ち続けて今日まで歩んできました。その中核は、「経済的支援」と「霊的・教育的支援」です。

経済的支援というのは、申請をし、承認を受けた開拓教会に一定期間、一定額を毎月サポートするという事です。サポート金額やその期間は、時代によって多少変化してきていますが、現在は最高12万円（減額制）を最大7年間支給しています。

霊的・教育的サポートというのは、開拓伝道者に励ましと学びと交わりの機会を定期的に提供するという事です。開拓伝道者は得てして孤独に陥りやすいと言われております。また支援者や支援母体等から結果を求められることもあり、自分を追い込んでしまうケースも少なくありません。そのようなとき、同じ働きに召された者同士が交わりを持ち、主の恵みを分かち合うことができれば、非常に大きな助けになります。そのような場をセッティングすることも私たちKDKの大切な役割であると認識しております。

このようにKDKは、開拓伝道の主体を担う団体ではありません。あくまでも脇役であり、開拓伝道者と開拓教会のサポーターに過ぎません。いまはコロナその他の故に宣教活動は困難を極めています。しかし、門が閉じられているわけではありません。主は開拓の志を持つ方々を備えてくださり、その人々を応援する主のしもべをも送っていただきます。

開拓伝道のためにお祈りください。KDKが開拓伝道に資する働きを続けて行くことができるようにお祈りください。

（千歳福音キリスト教会 牧師）